

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2020年2月12日

【四半期会計期間】 第53期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 株式会社ショーエイコーポレーション

【英訳名】 SHOEI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 芝原 英司

【本店の所在の場所】 大阪市中央区備後町二丁目1番1号

【電話番号】 06-6233-2636(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務 有村 芳文

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区備後町二丁目1番1号

【電話番号】 06-6233-2636(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務 有村 芳文

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第52期 第3四半期 連結累計期間	第53期 第3四半期 連結累計期間	第52期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	13,247,435	14,267,266	17,807,429
経常利益	(千円)	343,162	456,611	501,281
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	219,563	281,398	317,648
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	155,236	296,778	244,323
純資産額	(千円)	2,518,336	2,538,853	2,607,424
総資産額	(千円)	8,822,465	8,938,764	8,959,046
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	33.65	44.13	48.66
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	28.5	28.4	29.1

回次		第52期 第3四半期 連結会計期間	第53期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益	(円)	7.29	18.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社クルーを、当社を存続会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲から除外しております。

(日用雑貨品事業)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社CSを、当社を存続会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲から除外しております。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況
1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参
照下さい。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続き緩やかな回復基調が継続しているものの、海外では長引く米中貿易摩擦や中東における地政学リスクといった世界経済の不確実性もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、配送運賃のコスト増といった厳しい状況が続く中、環境への負荷をできるだけ抑える提案を進め、高収益で成長力のある会社になる事を目指し、販促営業とリテール営業を2本柱に充填案件を絡めた新たな案件の獲得に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,267百万円（前年同期比7.7%増）となりました。また利益面につきましては、国内では運賃の負担増があったものの、タイ子会社において原料価格が安定し始め生産効率を高める工夫を進めたことにより、営業利益は477百万円（前年同期比31.6%増）、経常利益は456百万円（前年同期比33.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は281百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を再編しました。それに伴い、以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（パッケージ事業）

当セグメントにつきましては、お客様の商品の販売に対する販促支援を企画から提案する営業形態が成果を上げてきたことで受注案件が増加しております。また化粧品、健康食品の充填セット作業も取扱い件数が増加してきたことから売上高は前年同期を上回ったものの、従来のフィルムパッケージなどの包装資材は環境問題等により軽薄短小化が進み数量とも減少傾向が続いたことの影響で利益率が低迷し、セグメント利益は依然として前年同期を下回っております。

その結果、売上高は6,123百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は383百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

（メディアネットワーク事業）

当セグメントにつきましては、従来からの封入封緘案件は減少しつつあるものの、企画から充填セットまでの販促営業を展開し顧客層の拡大を進めたことに加え、物流案件が順調に推移したことで売上高は前年同期を上回り、セグメント利益も利益率の高い充填セット案件が寄与し前年同期を大幅に上回りました。

その結果、売上高は3,208百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は174百万円（前年同期比62.1%増）となりました。

（日用雑貨品事業）

当セグメントにつきましては、100円ショップ向けの新商品の投入アイテム数増加に注力し、従来のポリ製品に加えヘアオイルやボディローションなどの雑貨品を積極的に投入し販路拡大を進め、取引量を拡大してまいりました。加えてドラッグストア等の量販店においてはポリ製品以外の紙製品や雑貨品の販売を進めていったことで売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は5,881百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は293百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は18百万円（前年同額）、セグメント利益は

12百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が増加したものの、投資その他の資産が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は6,399百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金並びに長期借入金等が減少したものの、短期借入金等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少しました。これは主に利益剰余金が増加したものの、自己株式の取得により減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,850,000	6,850,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	6,850,000	6,850,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日		6,850,000		229,400		146,800

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 604,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,244,200	62,442	
単元未満株式	普通株式 1,200		
発行済株式総数	6,850,000		
総株主の議決権		62,442	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式48株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ショーエイ コーポレーション	大阪市中央区備後町 二丁目1番1号	604,600		604,600	8.82
計		604,600		604,600	8.82

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	558,655	644,265
受取手形及び売掛金	2 2,709,247	2 2,834,338
電子記録債権	2 432,896	2 310,059
商品及び製品	1,656,477	1,721,534
仕掛品	151,674	148,274
原材料及び貯蔵品	105,138	98,576
その他	424,531	399,312
貸倒引当金	6,485	1,373
流動資産合計	6,032,135	6,154,987
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,125,712	1,125,075
その他(純額)	891,811	862,897
有形固定資産合計	2,017,523	1,987,972
無形固定資産		
その他	170,172	151,838
無形固定資産合計	170,172	151,838
投資その他の資産		
その他	763,251	666,317
貸倒引当金	24,037	22,351
投資その他の資産合計	739,214	643,966
固定資産合計	2,926,910	2,783,777
資産合計	8,959,046	8,938,764
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 2,337,956	2 2,182,504
短期借入金	2,410,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	170,700	120,300
未払法人税等	74,065	54,195
未払消費税等	31,562	76,799
賞与引当金	99,916	77,912
その他	400,728	367,010
流動負債合計	5,524,928	5,728,722
固定負債		
長期借入金	252,150	177,450
退職給付に係る負債	71,913	42,094
長期未払金	145,052	144,212
その他	357,578	307,432
固定負債合計	826,693	671,188
負債合計	6,351,622	6,399,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	175,478	175,478
利益剰余金	2,083,057	2,233,616
自己株式	54,827	289,337
株主資本合計	2,433,108	2,349,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,797	113,502
繰延ヘッジ損益	-	4,843
為替換算調整勘定	46,518	71,351
その他の包括利益累計額合計	174,316	189,696
純資産合計	2,607,424	2,538,853
負債純資産合計	8,959,046	8,938,764

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	13,247,435	14,267,266
売上原価	10,768,407	11,529,554
売上総利益	2,479,028	2,737,711
販売費及び一般管理費	2,116,164	2,260,143
営業利益	362,864	477,567
営業外収益		
受取利息	178	97
受取配当金	5,306	5,676
デリバティブ評価益	995	894
資材売却収入	4,278	3,871
保険解約返戻金		7,750
その他	2,729	3,517
営業外収益合計	13,487	21,808
営業外費用		
支払利息	28,713	32,018
為替差損		2,949
その他	4,475	7,795
営業外費用合計	33,188	42,764
経常利益	343,162	456,611
特別利益		
固定資産売却益		1,141
特別利益合計		1,141
特別損失		
固定資産売却損		139
固定資産除却損	385	54
投資有価証券評価損		20,254
特別損失合計	385	20,448
税金等調整前四半期純利益	342,776	437,305
法人税、住民税及び事業税	134,136	109,180
法人税等調整額	10,923	46,725
法人税等合計	123,213	155,906
四半期純利益	219,563	281,398
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,563	281,398

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	219,563	281,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,530	14,295
繰延ヘッジ損益	13,446	4,843
為替換算調整勘定	4,756	24,833
その他の包括利益合計	64,327	15,380
四半期包括利益	155,236	296,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,236	296,778

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当社の連結子会社であった株式会社CS及び株式会社クルーは、2019年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形割引高	30,763千円	千円
受取手形裏書譲渡高	3,876千円	千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	14,214千円	12,215千円
電子記録債権	3,178千円	3,845千円
支払手形	99,813千円	85,518千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	94,767千円	138,866千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	84,552	13.0	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当金には記念配当3円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	130,839	20.0	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年8月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式285,600株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が234,477千円増加しました。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が289,337千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	パッケージ 事業	メディア ネットワーク 事業	日用雑貨品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,025,743	3,079,722	5,123,969	13,229,435	18,000	13,247,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,067,161		90,695	1,157,856		1,157,856
計	6,092,904	3,079,722	5,214,665	14,387,291	18,000	14,405,291
セグメント利益	423,140	107,364	274,654	805,160	12,619	817,779

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	805,160
「その他」の区分の利益	12,619
セグメント間取引消去	19,720
全社費用(注)	474,636
四半期連結損益計算書の営業利益	362,864

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	パッケージ 事業	メディア ネットワーク 事業	日用雑貨品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,159,094	3,208,575	5,881,596	14,249,266	18,000	14,267,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	964,256			964,256		964,256
計	6,123,351	3,208,575	5,881,596	15,213,523	18,000	15,231,523
セグメント利益	383,195	174,004	293,109	850,309	12,824	863,133

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	850,309
「その他」の区分の利益	12,824
セグメント間取引消去	6,037
全社費用(注)	391,603
四半期連結損益計算書の営業利益	477,567

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2019年4月1日付けで前連結会計年度まで連結子会社でありました株式会社CS及び株式会社クルーを吸収合併しており、第1四半期連結会計期間より、組織構造が変更されたことに伴い、「パッケージ事業」及び「日用雑貨品事業」の報告セグメントの区分方法を見直しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	33円65銭	44円13銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	219,563	281,398
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	219,563	281,398
普通株式の期中平均株式数(株)	6,524,172	6,376,266

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月10日

株式会社ショーエイコーポレーション
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	林	由	佳	印	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	井	上	正	彦	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショーエイコーポレーションの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショーエイコーポレーション及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。